



昭和二十一年 月 日

昭和二十一年 三月 十七日

死亡時の状況

ハチの如く病状 入院中ニ付不詳

病の通り承知しておまされた由り世致しませ

昭和二十一年十一月二十日

申請人

軍級 海軍 佐同 金丸 長

吉本持世

著者

所属部隊

第二十根拠隊 又 八中 砲臺 二 砲 部

備考

- 一本調書は死歿者の葬上関係一切を處理するものであるから慎重に且詳細に記入して下さい
- 他人から聞いたり承知した事項は其の旨を念白に記入して下さい

私研白令丸 長

[Redacted]

ト申ス 承テスガ

[Redacted]

遺体 後 葬 儀 非 常 心 願 下 居 ン 由 年 延 公 報 有 出 ン



劉之丸

軍人現況不明者調査目

姓名

水長

現住所

三三七 綜合調査係り

水長

水長

水長

三三七 綜合調査係り

水長

水長

水長

水長

三三七 綜合調査係り

水長

水長

水長

水長

水長

水長

水長

三三七 綜合調査係り

水長

水長

水長

三三七 綜合調査係り



(一) 遺言 (二) 遺言の 内容 (三) 遺言の 作成 (四) 遺言の 執行 (五) 遺言の 取消 (六) 遺言の 無効	遺言の作成 遺言の執行 遺言の取消 遺言の無効	遺言の作成 遺言の執行 遺言の取消 遺言の無効	遺言の作成 遺言の執行 遺言の取消 遺言の無効
---	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

遺言の作成  
 遺言の執行  
 遺言の取消  
 遺言の無効

遺言の作成  
 遺言の執行  
 遺言の取消  
 遺言の無効

127-12











65607

警部不了者消息調査依頼票 (昭和十三年六月十日)

吳地方復員残務處理部復員業務課履歷認定B班

申告者

元等級

氏名

等級

電報符号

入籍番号

本籍地(現住所)

現況不明者  
本人に  
対する官部  
承認

所轄名

七 世

同奉令  
年月日

19. 8. 1

特技章

入国  
年月日

19. 10. 1

補  
年月日

事項

参考  
事項

旧軍内防生隊附

死歿場合死歿年月日

昭和十三年五月頃ト推定ス

戦死か病死か病死場  
合は病名

痘死 じん瘋

死歿の場所

アール諸島(大島)アール

死歿の状況

全身ハレ特ニコイ丸形シクツケル

右貴殿と共に行方不明  
何迄勤務もいたしたか  
本人勤務履歴は本人に  
本人勤務履歴は本人に

昭和十三年五月島ニ上陸 昭和十九年八月十五日

此ハ人とは別人最後  
推定スル

此ハ人とは別人最後 推定スル

本人未復員者の場

回

256-305

115/5

3059

答

欄

(註)

合 存  
本人の消息を誰に尋ねると判明し得るか  
その人の住居等級  
氏名

合 存  
去来不明の者  
住居指定死亡  
高田全五  
室後十日

本人  
内地陸地名及  
其の年月日

復員特許部(部隊)

復員帰郷先

旧海軍省

旧横鎮

旧佐鎮

旧新鎮

下記任務の軍人  
軍務死後者  
最終の消息を  
得てありし人か  
有無を○印を付  
し(尚記憶なき  
氏は附記)を示  
す

有	有	有	有
無	無	無	無

(一) 本表は吳市下山町等地を復員任務中、埋部、復員業務課、履歴宛等  
返送を下す

(二) 知得事項は推定なく結構のすから細大なく減水なく記述を下す

(三) 消息不明の者も他人から得た知得事項があるも必ず記述を下す

戦死確認資料（水長 [redacted] に對する分）

一、申告者 二十二特別根據地隊 水長 [redacted]

二、戦死者 第三補充部 水長 [redacted]

三、戦死年月日、場所

昭和二十年三月五日 「スラバヤ」沖

四、戦死状況

セ二一セ〇〇万洋丸乗組として勤務中同船は昭和二十年三月五日午  
前二時三十分頃敵潛の雷撃により「スラバヤ」沖に於て沈没し三〇  
〇名の乗員中約半數は第二廻昭南丸に救助されしも半數は行方不明  
となれり 後戦死確認せられ「スラバヤ」に於て台同葬儀ありたり  
當時万洋丸に便乗旅行中なりし [redacted] 水長も救助せられ「スラバヤ」に  
於て [redacted] 水長の英靈當番として二ヶ月間勤務せり

(終)



昭和二十一年十月八日

戰死(戰病死)確認者 定二年終止

確認當時。所轄：第...海軍

官職 氏名 印

葬為地方復員局人事部長殿

戰死者確認。件報告

一 戰死者官名：海軍二等兵曹

一 入籍 番 號

一 戰死年月日時刻：昭和二十一年三月五日...

一 戰死 場所：...

一 戰死 原因：...

一 戰死 正 則：...

一 狀死。狀況

一直骨。看主

一 狀房。看主

到明。了長。極。短。度。可。

證。明。三。五。持。牌。正。子。應。推。判。中。候。居。中。時。或。說。國。策。

其。有。三。持。牌。久。又。動。之。二。子。為。下。后。如。令。二。子。在。其。

不。足。辨。別。其。古。河。也。二。子。在。其。中。在。其。中。在。其。中。

3063

46-11



答

欄

復の日場の合

本人復員の日	何れ	北	御	存	い	な	に	存	き	と	い	な	本人の消息を誰に とつねると判明し ますかその人の 住所氏名年齢	本人はどんな最 後に終ったと確 定されますか	本人転勤の場合 はどんな方法でどこ へ転勤したか	別表の備考欄に 記載してありますか
内地上陸地名及び その年月日	復員時所属 (部隊名)	楊	領	郷	先	死	線	の	死	線	の	死	死	線	の	死

(註)

(一) 本表は吳高橋内及市下山手町吳地方復員業務處理部復員業務課履歴係宛送す  
返送して下さい

(二) 知得事項は推定でも結構ですが細大なく記述して下さい

(三) 消息は確認していないが他人が復元を知得事項であつて必ず記述して下さい

66-27

3065



昭和二十二年八月八日

軍人現況不明者調書

内地出發年月日、場所、乗船名(又は航路) 佐 衛 隊 行 務 係 通知があつたか		本人からの最後の通信 内容		差出日附( ) 部隊符號( ) 受領年月日( ) 検閲者印( )		家族の承知してゐる情況		留守擔當者 氏名 職稱 氏名 職稱		所屬( ) ( ) ( ) ( )		階級 氏名		生年月日		入籍番號 ( )		現住籍地 ( )	
其 他 死者 年月日 死因 場所		同右現住所		提供年月日 22年10月8日		情報提供者 部隊 階級 氏名 入籍番號 佐 衛 隊 中 尉 氏 名 入籍番號		歸還者からの情報		氏名 職稱 氏名 職稱		氏名 職稱 氏名 職稱		氏名 職稱 氏名 職稱		氏名 職稱 氏名 職稱		氏名 職稱 氏名 職稱	

47. ①47

<p>（四） 其の他何れか 通知があつたか から何れが通知が あつたか</p>	<p>昭和二十一年八月一 日又は其の後に米復 負荷を出したか 出してなければその 理由</p>	<p>家賃受領の状況及 取扱経理部</p>	<p>其の他究明上参考と なるべき事項</p>	<p>世 話 調 (科) 資料及所見</p>	<p>佐 入 資 料 状</p>
<p>あり</p>	<p>提出あり</p>	<p>月五・四二用 作経理部</p>	<p>（印）</p>	<p>47/ 23年4月21日</p>	<p>2047. ジャバ海 五十銭 既没</p>
<p>はら</p>	<p>石田知有</p>	<p>本人の消息をよく 知つてゐると思は れる者の住所氏名 其の他究明上参考 となるべき事項</p>	<p>（印）</p>	<p>24-11</p>	<p>24-11</p>

6846

125

申告書	新機部		新機判明情況	一機 現況	一等 機曹	所屬 局管	吳	本 部 地
	歸郷先	新機部						
	アンボン	アンボン	二〇年春二十等病室に於て三日熱熱帯熱 混合ノエラリヤにて戦病死 45	現況不明	氏名	方面	アンボン	
	二十等病室	上等曹		現況不明 名簿索引				三十四持根

在籍官關係未結... 二十三年 月 日

3068

364





明治二十二年

明治二十二年	死に場所	死に場所
死に場所	死に場所	死に場所
死に場所	死に場所	死に場所

申告番号	等級	海軍主計士	氏名
現住所	全	前	
所属部隊	也若武七奉天部隊	主計隊	

3070

1871

# 元海軍軍人未復員者調査票

事後

連絡番号	留守担当者	氏名	現住所
	母		県 市郡 村字
	昭和三十九年 警	上 等	県 市郡 村字
	(所 令 年 月 日 備)	等 級	氏 名
		生 年 月 日	(本 現 住 籍 所 地)

## 家族の承知されてゐる情況

本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	差出日附 ( 年 月 日 ) 部隊番号 ( ) 受領年月日 ( 年 月 日 ) 横聞者印 ( ) 内 容	一 部隊長から何か通知がありましたか 二 痛覚者から何か通知がありましたか 三 其の他のところから何か通知がありましたか 以上ありましたらそれを書いて通知した人の住所氏名を書いて下さい
内 地 出 発 年 月 日、場 所、乗 船 名、行 先 が わ かり ます なら 留 意 下 さい	昭和二十二年四月十日、サワ島向出発 船名 巡洋艦 五十鈴	
家族渡受領の情況と取扱つてゐる経理部を書いて下さい		其の他本人に就いて参考になることを書いて下さい

## 歸還者からの情報 (歸還者の方は本欄に未処理者個人に対すること、自分の属してゐた部隊の情報を入れて下さい)

未処理者個人に対する情報		帰還者の属してゐた部隊の情報	
情報提供者	部 隊 等 級 氏 名 入籍番号	この欄には所属部隊の行動、戦闘状況(艦船事故ならその状況)を詳しく書いて下さい (特に場所、年月日を現るさない様にして下さい)	
同右現住所	部 隊 等 級 氏 名 入籍番号		
本人から何処で何時にか又別時送る一緒でしたかその本欄に記入して下さい	昭和二十二年三月末面会 クハ、より三ツ向四日、八日出発 巡洋艦 五十鈴		
戦死者でしたらその状況を本欄に記入して下さい (死亡か病死なら病名を記入して下さい)	死 因 疾 病 死亡年月日 昭和二十二年四月十日 死亡の場所 フローレス海峽 状 況 (名海軍の乗組員攻撃により没)		
行方不明者ならばその状況を記入して下さい	原 因 年 月 日 場 所		
他に本人の消息をよめる方の方の住所氏名を記入して下さい			
備 考	佐世保海軍病院に入院したの帰艦五十鈴に上艦		

昭和廿九年九月四日

死 歿者 調 書



本籍地

現住所

所屬部隊

入國年月

官等級

内地渡海出發年月

駐地到着年月日

勤務概要

發病發症年月日

病名(受傷)状態

發病(受傷)原因

歿(死)時状況

備考(その他)

右 全

海軍第五一師團 〇〇部隊

昭和十九年九月十五日 役種 軍 兵種

員 〇〇 生年月日 〇〇 入籍番號

昭和十九年十二月十八日 舞鶴港 出發

昭和二十年一月二十八日 カートニバル島ニ到着

飛行場及陣地構築

昭和三十年四月二十七日

マラリヤ

胃腸系に受病後急遽マラリヤ病勢発症し急死す

昭和三十年四月二十八日午後六時三十分ニ歿す

備考(その他)

2/年 1940

存 申 告 又

昭和二十一年 五月十七日

本籍地	[Redacted]	
現任所	右 全	
所屬部隊	海軍第五一師團 [Redacted]	中隊 官等級
氏名	[Redacted]	工員
	入籍番號	

備考

- 一 本調書ハ部隊長又ハ殘務取扱者等與地方復員局人事部長宛  
通報スベキ責任者ニ於テ知得シテ又ト認ルモノニ付記載ス
- 二 兵員在籍 特務士官、准士官、下士官、兵ニ付記載ス
- 三 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
- 四 知得シテハ範圍ニ於テ出資得ル限リ詳細ニ記載ス
- 五 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該欄ニ相半方ヲ記載ス



一 死 殘者 不 籍 地 亡 確 認 書

一 同 官 等 叙 天 名 海 軍 二 等 兵 曹

一 死 殘 年 月 日 昭 和 二 十 年 五 月 一 日

一 死 之 分 戰 死

一 死 殘 場 所 シマバシ

右 確 認 書 翻 製 候 也

昭 和 二 十 年 七 月 四 日

第 二 南 遣

スラバヤ 海 軍 運 輸 部

之 海 軍 一 等 兵 曹



五



海軍人事部

局

11610

3076

4661

死没者調書

<p>所在地</p>	<p>新島郡</p>	<p>新島</p>	<p>官等級</p>	<p>一機曹</p>	<p>氏名</p>	<p>〃</p>	<p>勤務概要</p>	<p>疾病(受傷)年月日</p>	<p>病名(入場部位)</p>	<p>死没時状況</p>
<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>
<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>
<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>

3077



昭和二十二年五月十日午後七時 (八) 八 海軍病院

右申告文

昭和二十二年一月十一日

申告者	現住所	本籍地
氏名	第九天海軍航空隊	
	右全	
	官等級	上等飛行員
	勤務所	

備考

- (一) 本調書、部隊長又、職務取扱者等、於、其地方役員局、人事部長宛通報、非、其、現、住、所、付、記載、不、可。
- (二) 吳鎮在籍者、持務、官、准、在、長、下、官、其、付、記載、不、可。
- (三) 同村縣人、其、他、村、籍、者、有、之、就、之、起、載、不、可。
- (四) 知得、之、範圍、其、外、出、來、得、之、限、詳、細、記、載、不、可。
- (五) 他人、用、之、承、知、之、事、項、本、書、誤、相、相、手、方、之、記載、不、可。
- (六) 送付先

吳中

吳地方役員局、人事部長宛

# 死 歿 者 調 書

本籍地	[REDACTED]		
現住所	今	右	
所属部隊	三六〇〇〇〇〇〇部		
入国年月日		役種	兵種
等 級	軍長(機長)	年令	[REDACTED]
内地港灣		開港地	
外地到着	昭和三年五月	開港地	三六〇〇〇〇〇〇部
勤務	三六〇〇〇〇〇〇部 支隊 五七五機隊 機長		
発病又は受傷年月日	昭和三年五月十日		
病名又は傷名	復讐負傷		
発病又は受傷の状況	激突中絶命、破片に傷り即死		
死年月日	昭和三年五月十日	死の場所	名「ア」陸地
死之時	昭和三年五月十日未だ戦友の報りに依り戦死を認め同日午		

石通承知しお申上りし一料を以て記し置り  
 昭和三年 六月十九日

申告者の	入籍番號	[REDACTED]		
	本籍地	[REDACTED]		
	現住所	[REDACTED]		
	所属部隊	名「第」海軍警備隊 [REDACTED]		

- 備考
- 一 本調書は死歿者の身上関係一切を處理するものであるから慎重に且詳細に記入し下る。
  - 二 他人から聞し承知した事項は其の旨末尾の餘白に記入し下る。

# 軍 属 現 況 不 明 者 調 査 書

か 187

整理番號	原 道 元 姓 又 は 船 名	身 分	氏 名	生 年 月 日	本 籍 地	現 住 所
	清福丸	船員	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
	留守擔當者	氏 名	職 稱	現 住 所		
	[REDACTED]	[REDACTED]	妻	本籍地と同じ		
家族の承知してゐる情況				節 選 者 か ら の 情 報		
職 名 (司政官、副官、 甲工務班、船長等)	甲技員 (佛人)			提供年月日	昭和二十三年 一月 三十日	
用 途 (現用、現地採 等の別)	小工用 (船長)			情報提供者	二二軍部附屬 職 氏 名 清福丸 船長 [REDACTED]	
採用又は徴用年月日 (船員は船名及船主)	八二四 清福丸 船主 清福丸			同右現住所	[REDACTED]	
内地出発年月日、 乗船名(又は船名) 行先	八二四 清福丸 船主 清福丸 スエーデン方面			(一) 何人 の時	分二二軍部附屬 清福丸 船長 [REDACTED]	
外地勤務の部隊名及 場所	二二軍部 附屬 清福丸			(二) 其の 時	分二二軍部附屬 清福丸 船長 [REDACTED]	
本人からの最後の通 信	差出日附 ( ) 部隊符號 (七三二七三) 送附年月日 ( ) 検閲者印 ( ) 内 容			(三) 同部隊名	分二二軍部附屬 清福丸	
(一) 部隊長から何か 通知があつたか	左記者から水色通知あり			死 因	戦死	
(二) 節選者から何か 通知があつたか	二二六五バリ島近海に於て清福丸			死 年 月 日	二〇、六、五	
(三) 其の他のどこ から何か通知があ つたか	敵機攻撃を受け同船は被害受 け事場中 [REDACTED] 日頭部物部			死 場 所	バリ島附近 兵艦丸	
(右通知した人 の住所氏名)	[REDACTED] 元清福丸船長			死 状 況	[REDACTED] 戦死	
昭和二十二年八月一 日又は其の後に未復 出理由	出した			死 後 推 定 日	[REDACTED]	
家族渡受領の情况及 取扱整理部	未受領			死 後 推 定 場 所	[REDACTED]	
其の他究明上参考と なるべき事項				死 後 推 定 年 月 日	[REDACTED]	
世 話 課	二〇六五バリ島近海に於て清福丸敵機攻撃を受け日頭部物部へ					
資 材 及 所 見	戦死 (元清福丸船長 中古による資料)					

28/46

現 認 證 明 書

第百三編 陸軍省 陸軍部 第六支隊 第二員

一、受傷年月日

昭和三十年六月八日

二、受傷部位

頭蓋底骨折 腦頰傷

三、死亡場所

セレス島方面

四、受傷狀況

昭和三十年六月八日自某自海軍省 第六支隊長 命三係

同時海軍少尉

被督下ニテ方ニテ合縣ニシテ行用

部隊屬大兼庫より多分縣ホニトギイ方面ニ某特別根據地陸陸

輸送隊所屬積物自動車(陸軍第三號)ニ乗込合最運搬作業中

同日午前十時五十分頃ニシテ火兼庫ニ出發(積込物)約行向地是差

掛道道路幅ニ乘車ニ志道ニ急路ニ自前所特路而、四ニ散々運轉、予不

予者人ハ自動車運送ニ銀々除行ニテ前方ニ視野決、右面直ニ元、

方面向ニシテ急時自動車、右側路面ニ急約望程、四地ニ發見之ヲ避カシ



トナルニ路幅狭ニ為事、後補之ノ路込約四ノ度、右斜ニ傾キ急ニ停車セシ  
為同乗ノ人、其激動ニ身體中心ノ火ニ事ニリ、右側若石ニ轉落頭部  
ニ負傷セリ

右現認ス

昭和二十年六月八日

第百海軍軍需部附

海軍少尉



昭和二十一年六月二十日 臨時五十五分 マデウニ(モイワ島) 飛行場

大申告ス

昭和二十一年十月三十一日

申告者氏名	現住所	本籍地	官等級	籍番
	所屬部隊	本籍地は同じ	海軍中尉	
	第三八海軍航空隊			

備考

- (一) 本調査、部隊長又ハ殘務取扱者等ニ於テ吳地方復員局人事部長宛通報ス非ズト認ルモノニ付記載ス
- (二) 吳鎮在籍者、特務主任准士官、下士官兵ニ付記載ス
- (三) 同村縣人ハ勿論他村縣出身者ニ就テモ記載ス
- (四) 知得ニシテ範圍ニ於テ出来得ル限リ詳細ニ記載ス
- (五) 他人事關中承知シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス
- (六) 送付先

吳地方復員局人事部長宛



61907

一昨一本紙は別紙を付便送候ハエリ

學人第百四の三八のロー一九三

昭和二十二年五月廿五日

東京府立自衛隊人部

[Redacted]

及 延滞り

照

照

照

東京府立自衛隊人部

23/6

昭和二十二年六月二十七日

本領員者の身理手立に  
必要を以て九月九日の若くは  
作息由事知事らに送呈候事  
知照しやう

記

[Redacted]

二七

[Redacted]

一紙

昭和二十二年六月二十七日未明堂子親啓世英殿  
申シテ候事、故の面影も度り、没後下徳  
生なる中、心ならず、病歿せし事、仰し  
同年七月月中旬、スル等、二十一、孫孤等、今月、親堂  
余、済介、病歿し、認定す。 [Redacted] 志は、者三、病歿  
より、一、時、病歿し、十九年八月、子、白、病歿、夫、良と  
し、や、子、親、啓、世、英、殿、申、候、事、申、上、同、故、親、堂、故  
申、上、親、堂、生、存、者、申、上、す





# 軍屬現況不明者調査書

753

186

派遣元團又は船名 清福丸	身分 船員	氏名 [Redacted]	生年月日 [Redacted]	現住地 [Redacted]	現住所 本籍地と同じ
留守担当者 [Redacted] 兄			家族の承知してゐる情況		
職名 (司政官、船長、甲板員、船医、船医助手) 船員(傭人)	提供年月日 昭和二十三年一月三十日		情報提供者 [Redacted] 氏名		
志願、徴用、現地採用等の別 定用(船長)	同右現住所 [Redacted]		(一) 本人とは [Redacted]		
採用又は徴用年月日 (船員は船名及船主) 八二四高津丸船主以前	(二) 其の時の 本人の情況 [Redacted]		(三) 同部隊名 二軍書部(此方) 若くは		
内地出発年月日、場所、乗船名(又は航路)先行 八三月 高津丸 着福丸	外地勤務の部隊名及場所 二軍書部 所属 着福丸		本人からの最後の通信 送付年月日 [Redacted] 送付者印 [Redacted] 内容 [Redacted]		
(一) 部隊長から何か通知があつたか (二) 隣近者から何か通知があつたか (三) 其の他のところから何か通知があつたか (右通知した人の住所氏名) [Redacted]	消息の 本人の消息をよくしつてゐると思はれる者の住所氏名 [Redacted]		本人の消息をよくしつてゐると思はれる者の住所氏名 [Redacted]		
昭和二十一年八月一日以前に未復讞を出したか 家族渡受領の情況及取扱経理部 未受領	其の他究明上参考となるべき事項 [Redacted]		其の他究明上参考となるべき事項 [Redacted]		
世話 [Redacted]	資料及所見 [Redacted]				

47











# 愛媛

本籍地	[Redacted]	外死者調書
現任所	第四警備隊防空隊指揮小隊	
所屬部隊	第四警備隊防空隊指揮小隊	
入隊年月日	昭和十九年五月十日	兵種
階級	上等兵	[Redacted]
外調別	昭和十九年九月七日	佐世保
備考	本部指揮所にて電話係り及び従兵 整明ニシテ明朗兵教育は六着の成績は上下の倍望 厚く同年其の職大	[Redacted]
病名 昭和二十年七月六日	悪性マラリア 昭和二十年七月六日	兼候悪ク本人体衰弱迄了不充分

死亡の場所 十セールの島夕日又

死亡年月日 昭和二十二年七月十六日午前〇時半

死亡時の状況 高熱十九度、呼吸停止、又本人は静脈深く輸血する事不能

石の運び 承知してゐる事から申 送致し可

昭和二十三年 四月十四日

軍人番号 [redacted] 等級水兵長 氏名 [redacted]

所在籍地 [redacted]

所属部隊 第四警備隊防空隊第二砲台

備考

一 本調書は死後者の身上関係一切を処理する事から  
慎重に且つ詳細に記入して下さい  
二 他人の口頭にて承知した事項、其の他参考となるべき資料は其の  
旨、仔細に再記入下さい

200 昭和二十二年六月廿一日發表







# 宮崎縣

職名及職名

本籍地	[Redacted]
現住所	[Redacted]
所屬部隊	第二十警備隊
入部年月	不明
官等級	一等 [Redacted]
内地海陸出身年月日	不明
現地海陸出身年月日	不明
勤務ノ概要	勤務積極強行身實良 下中末等ノ様様 修考年々ノ進歩 [Redacted]
發給(受領)年月日	昭和七年
姓名(受領部位)	[Redacted]

生年月日

入部番號

兵種  
無科

59-1



並前(三處)

又ハ前死ニテ...

死亡年月日

昭和二十一年十一月十七日

右申告ス

昭和二十一年十一月十七日

本籍

現住所

所属部隊

氏名

氏名欄に黒塗り

官階

少尉

備考

一 本調査ハ部隊長又ハ班長等毎兵地方復員局人軍部並宛通報スベキ  
 責任者ニ於テ知得シテサズ 部員ルモノノミニ付記載ス  
 二 兵備在籍ノ特務士官准士官、下士官兵ニ付記載ス  
 三 同隊人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス  
 四 知得シアル範圍ニ於テ出来得ル限リ詳細ニ記載ス  
 五 他人ヨリ得キテ悉知シタル事項ハ各該營欄ニ相手方ヲ記載ス



死歿者調書

本籍地	現住所	所属部隊	入国年月日	等級	種別	役種	兵種
[Redacted]	台	二一		一等	陸	理	兵
				記憶せず	陸	理	兵
				記憶せず	陸	理	兵
				記憶せず	陸	理	兵
				勤奮努力	陸	理	兵
				然るに其の情に即ち思ふも確かなる日	陸	理	兵
				数方々マリア加聖園と思わしむ	陸	理	兵
				要約二三ノ事	陸	理	兵
				記憶せず	陸	理	兵
				口も聞かず	陸	理	兵

61-16

昭和二十五年 九月五日

申	告	者	の
入籍番号	本籍地	現住所	所属部隊
		右	二五警備隊
等級	海軍少尉	氏名	

備考

一 本調査は死没者の身の上関係一切を處理するものであるから慎重に且詳細に記入して下さい。

二 他人から聞いて承知した事項は其の旨末尾の餘白に記入して下さい。

證明書

昭和十九年二月三日廿二日 瓢箪丸甲板長トシテ  
佐世保鎮守府所屬ニ甲種機操トアリ今年四月  
月二十四日佐世保出港今年七月二十三日スラハヤ着  
海軍運輸部ニ配屬ナル  
マカシナル近海ノ輸送ニ從事シ居タルモ昭和二十  
年四月十四日遭難停機今年七月十五日スラハヤ運  
輸部所屬ニ甲板長トシテ就職（予  
備員甲板長）  
（今年八月五日マカシア病ノ爲  
スラハヤ海軍病院ニ入院加藤中ノ處八月十五日午  
前九時息ヲ絶スル）

氏名

梅澤章壽

出生年月日

303-11

古證明又

昭和二十一年六月十八日

前京二觀峯丸船長

354-72





Handwritten notes in the top right corner, including the date "五月廿一日" (May 21st).

Handwritten characters, possibly "左通" (Left Through).

Handwritten notes in the middle right section.

Handwritten notes in the middle left section.

Handwritten notes in the bottom left section.

Handwritten notes in the bottom right section.

詠行中 (Eiga Wakayuki)

Large circled handwritten characters, possibly "津" (Tsu).

Vertical handwritten text column on the left side of the page.

Handwritten characters "紀" (Ki) and "四" (Shi).

Handwritten character "知" (Chi).

Handwritten character "日" (Hi).

Handwritten character "月" (Tsuki).

Handwritten character "水" (Mizu).

Handwritten characters "能" (Nori) and "香" (Ka).

25-10

3103